

ユーザーズガイド

BIPS

画像プリントプログラム

for Windows

Version 2.0f

ご注意

- ①このソフトウェアの著作権は、株式会社レアックスにあります。
- ②このソフトウェアやマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- ③このソフトウェアは、コンピューター一台につき1セット購入が原則となっています。
- ④このソフトウェアおよびマニュアルは本製品の使用許諾書のもとでのみ使用することができます。
- ⑤このソフトウェアとマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- ⑥このソフトウェアの仕様およびマニュアルの記載事項は将来予告なしに変更することがあります。
- ⑦製品の内容については万全を期していますが、ご不審の点や誤り、マニュアルの記載漏れなど、お気付きの点がありましたら株式会社レアックスまでご連絡ください。

BIPSは、株式会社レアックスの登録商標です。

Microsoft、MS-DOSは、米国マイクロソフト社の登録商標です。

Windowsは、米国マイクロソフト社の商標です。

目次

はじめに
表記の規則

1	イントロダクション	1-1
1-1	BIPS画像プリントプログラム for Windows について.....	1-2
1-2	プログラムで扱うファイルについて.....	1-2
1-3	プログラムで扱うデータについて.....	1-2
2	セットアップ	2-1
2-1	パッケージ内容の確認.....	2-2
2-2	必要なシステム.....	2-2
2-3	インストール.....	2-4
2-3-1	ハードウェアのインストール.....	2-4
2-3-2	ソフトウェアのインストール.....	2-4
3	機能編	3-1
3-1	概要.....	3-2
4	操作編	4-1
4-1	起動と終了方法.....	4-2
4-1-1	起動方法.....	4-2
4-1-2	終了方法.....	4-3
5	処理編	5-1
5-1	概要.....	5-3
5-2	ファイルを開く.....	5-6
5-2-1	概要.....	5-6
5-2-2	画像ファイルを選択する.....	5-6
5-3	通常の印刷.....	5-11
5-3-1	概要.....	5-11
5-3-2	メイン設定.....	5-12
5-3-3	画像に関する情報の設定.....	5-13
5-3-4	解析情報の設定.....	5-17
5-3-5	印刷画像パターンの設定.....	5-19
5-3-6	ページに関する情報の設定.....	5-22
5-3-7	全画像の印刷.....	5-24

5-4 コアモデルの印刷.....	5-25
5-5 書式の設定.....	5-27
5-5-1 概要.....	5-27
5-5-2 メイン設定.....	5-27
5-5-3 簡易設定.....	5-30
5-5-4 画像に関する情報の設定.....	5-31
5-5-5 解析情報の設定.....	5-32
5-5-6 印刷画像パターンの設定.....	5-33
5-5-7 ページに関する情報の設定.....	5-34
5-6 プリンタの設定.....	5-35

6 トラブルシューティング.....	6-1
--------------------	-----

7 ユーザサポートについて.....	7-1
--------------------	-----

はじめに

このマニュアルは、以下のように構成されています。

1. イントロダクション

ここでは、このプログラムがどのような製品であるか紹介します。

2. セットアップ

必要なシステムの構成とインストールするための手順を説明しています。

3. 機能編

本プログラムの機能について説明しています。

4. 操作編

プログラムの起動方法と本プログラムを操作する上で必要な基本操作について説明しています。

5. 処理編

本プログラムの使用方法を詳細に説明してあります。

6. トラブルシューティング

本プログラム実行中に発生する障害とその対処法について説明してあります。



7. ユーザサポートについて

ユーザサポート連絡先等が書いてあります。

マニュアルの表記規則

このマニュアルは、次の表記規則に従って記述されています。

一般の表記

表記	説明
	マウスを使って操作することを示します。
	キーボードを使って操作することを示します。

マウス操作の表記

表記	説明
クリック	マウスの左ボタンを押してすぐ離すことです。
ダブルクリック	マウスの左ボタンをすばやく2回クリックすることです。
ドラッグ	マウスの左ボタンを押したままマウスを移動し、目的の位置でボタンを離すことです。
ポイント	マウスのポインターを目的の位置まで移動し位置付けることです。

キー操作の表記

表記	説明
[Shift] + [Ctrl]	キーは、[]で囲んで表記します。
[Alt], [F], [O]	カンマで囲まれているキーを次々と押すことです。

1 イントロダクション

1 イントロダクション

ここでは、BIPS画像プリントプログラム for Windows Ver.2.0についての説明をします。

1-1 BIPS画像プリントプログラム for Windows について

本プログラムは、Windows上からWindowsでサポートしているカラープリンタへ種々のフォーマットでBIPS画像をプリントできるプログラムです。例えばBIPS展開画像、3次元画像あるいはこれらの組み合わせオーバービューの出力などです。またBIPSデータ処理プログラムV3.1以降で取得されたデータファイル(.BDT)を使い走向傾斜値や深度補正值とともに出力することもできます。バージョン2.0では、多くの機能の強化をはかりました。

- ・各種レイアウトの組み合わせプリント
- ・書式管理機能
- ・コアモデルプリント

また、今までMS-DOS版のプリントプログラムでのみでしか対応していなかったCANON Pixelシリーズへの出力がこのWindows版のプログラムから出力可能となりました。



注意 但しこの場合IPU10をPS-XJに交換する必要があります。

1-2 プログラムで扱うファイルについて

このプログラムでは、以下に示す2種類のファイルを扱います。

BIPS画像ファイル (.BIP)

BIPSの現場システムにより取得された孔壁画像データです。

データファイル (.BDT)

BIPSデータ処理プログラムV3.1以降のプログラムを使い取得される亀裂の方向値、開口量の計測結果、深度補正值などが記録されているファイルです。

1-3 プログラムで扱うデータについて

本プログラムでは、深度、亀裂の方向、開口量について扱います。

1. 深度

ボーリング孔内の深度を扱います。

範囲:-9999.999~9999.999m

2. 亀裂の方向

①走向傾斜

走向

定義: 真北を0°として時計回りをプラス(+)、反時計回りをマイナス(-)であらわします。

範囲： $-90^{\circ} \sim +90^{\circ}$

傾斜

定義：水平面を 0° として、走向に対して右側の落ちをプラス（+）、左側の落ちをマイナス（-）であらわします。

範囲： $-90^{\circ} \sim +90^{\circ}$

表現例：N25E 85W

②走向傾斜(SKB仕様)

走向

定義：真北を 0° として最大傾斜の方向に対して 90° 反時計回りの方向をあらわします。

範囲： $0^{\circ} \sim 359^{\circ}$

傾斜

定義：水平面を 0° として、走向に対して時計回り方向の落ちを傾斜として扱います。

範囲： $0^{\circ} \sim 90^{\circ}$

表現例：205/85

③傾斜方位

傾斜方位

定義：真北を 0° として最大傾斜の方向であらわします。

範囲： $0^{\circ} \sim 359^{\circ}$

傾斜

定義：水平面を 0° として、最大傾斜角を傾斜として扱います。

範囲： $0^{\circ} \sim 90^{\circ}$

表現例：295/85

3. 開口量

亀裂の開口量を扱います。

範囲：0 ～ 999.9mm

このページは空白です。

2 セットアップ

2 セットアップ

2-1 パッケージ内容の確認

インストールする前に、必ず以下に示すパッケージの内容をご確認ください。

- マニュアル
- インストール用3.5インチフロッピーディスク 1枚
- ソフトウェア使用許諾書
- ユーザ登録カード

2-2 必要なシステム

本プログラムを使用する場合、以下の機器とソフトウェアが必要です。

- コンピュータ本体
i80486 33MHz以上を搭載したWindows3.1もしくはWindows95が稼動するパーソナルコンピュータ(80486 66MHz以上を推奨)
- 基本ソフトウェア
Windows3.1あるいはWindows95
- 稼動メモリ
8MB以上
- ハードディスク
プログラムインストール用に約1MBの空き容量が必要です。また、例として50mのBIPS画像を展開画像と走向傾斜・開口量データを並列させて出力する場合で200MB程のプール用の空きディスク容量が必要です。
- フロッピーディスクドライブ
3.5インチ(2HD)
- ディスプレイ
本体に接続可能でWindowsに対応したディスプレイ
- ディスクドライブ
コンピュータ本体に接続可能なドライブ(MO,CD-ROMなど)、BIPS画像ファイルを扱うために必要です。
- その他
Windowsに準じた日本語入力システム
本体に接続可能でWindowsに対応したカラープリンタ
(プリンタによっては、一部動作しないものもあります)
本体に接続可能でWindowsに対応したマウス

2-3 インストール

インストールは以下の手順で行います。

以下の説明は、ハードディスクがドライブC、フロッピーディスクがドライブAに設定されているものとします。

1. Windowsの起動
2. インストールディスクをフロッピードライブにセットします。
この例ではドライブAになりますが、他のドライブでもかまいません。
3. ファイルマネージャー（Windows 3.1の場合）あるいはエクスプローラー（Windows 95の場合）からフロッピードライブの「SETUP.EXE」をダブルクリックします。以下のようなダイアログボックスが表示されます。

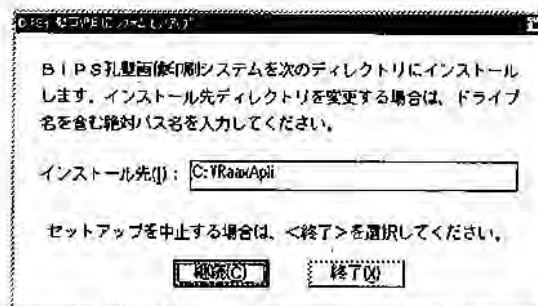


図 2-1. インストール開始ダイアログボックス

デフォルトで「C:\YRAAXPLI」というディレクトリ名が表示されます。違うディレクトリを指定する時は、入力しなおして「**続行**」ボタンをクリックします。インストールが開始し、インストールディスクからファイルがコピーされます。

4. ファイルのコピーが完了したら下図に示すダイアログボックスが表示され「**OK**」ボタンをクリックします。

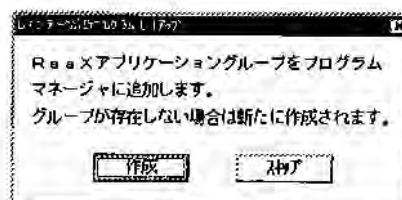


図 2-2. BIPS画像印刷プログラムセットアップダイアログボックス

「**作成**」ボタンを押すとグループが作成されます。
「**スキップ**」ボタンを選択するとグループは作成されません。

5. 下に示すダイアログボックスが表示され「**OK**」ボタンをクリックするとセットアップは完了です。



図 2-3. セットアップ完了ダイアログボックス

このページは空白です。

3 機能編

3 機能

3-1 概要

本プログラムは、BIPS孔壁画像を種々のフォーマットでカラープリンタに出力する機能を有します。以前のバージョンよりも機能的は、豊富になっています。機能については下記に示します。

1. BIPS画像データとBDTファイルの読み込み

任意のディスクからの画像データとして、BIPファイルを、また解析結果等をプリントするために、BDTファイルを読み込みます。

2. バナー、ヘッダ、フッタ情報の編集

表紙としてプリントされるバナー、ページごとのヘッダ、フッタ情報を任意に選択することができます。

バナー項目：画像ファイル名、BDTファイル名、件名、地名、孔番、日付、時間、深度範囲、ボーリング孔の方位・傾斜、孔径、磁北補正值、スパン、エンコーダ精度、スキャン方向、3D視点情報、カラーチャート、スケール、アスペクト比、総ページ数

ヘッダ項目：件名、孔番、ボアホール方位・傾斜、深度範囲

フッタ項目：スケール、アスペクト比、ページ番号

3. プリントフォーマットについて

(1) 6種類のプリントフォーマットを任意に組み合わせることができます。

(a) 展開画像

(b) 3次元画像

(c) 亀裂データ欄

(d) 切り合い線欄

(e) コメント欄 (枠あり)

(f) コメント欄 (枠なし)

(2) 上記フォーマットの任意の組み合わせを1ブロックとして用紙1枚にプリントするブロック数を指定できます。

(3) 3次元画像プリント時に、視点位置 (内側や外側) や視点角度 (斜め上方か水平) を指定できます。

(4) 用紙サイズをA4、B4あるいはA3から、あるいは用紙方向を縦あるいは横方向の2種類から選択できます。

(5) BDTファイルを使い、亀裂の表示 (走向傾斜、SKBモード、傾斜方位)、開口量、補正深度値、亀裂の切り合い線を画像と合わせてプリントできます。

(6) コアモデルのプリント

実寸と同じ大きさの展開画像を出力できます。これを使って実物のコアと比較することが容易です。

4. プリント条件の設定

(1) 任意の深度区間をプリントできます。

(2) 画像1本当たりの深度スケール (9種類) を指定できます。

(3) 水平方向のアスペクト比を指定できます。(50~200%まで)

(4) 出力コピー枚数を指定できます。

5. 輝度の設定

画像の輝度をRGB別に、-99～100%まで変更できます。

6. 書式の設定

種々設定されたプリント条件を書式として保存できます。

7. 複数ファイルの一括プリント

指定した複数ファイルを一括プリントできます。これによりファイルをそのたびに指定してプリントしていたわずわらしさから開放されます。

☞ 参考

これまでは、DOS版の画像プリントプログラムからでしか出力することのできなかつたCANON Pixelシリーズにおいて、最近Windows対応のプリンタドライバがサポートされました。従ってWindows環境からPixelシリーズに高精度カラープリントを出力できるようになりました。(但し、IPUユニットのかわりにPS XJユニットが必要です。)

このページは空白です。

4 操作編

4 操作編

4-1 起動と終了方法

4-1-1 起動方法

(1) BIPPWINは、Windows3.1またはWindows95から起動できます。

Windows3.1から起動するには

- ① プログラムマネージャウインドウに切り替えます。
- ② BDPWINのアイコンを含むRaaXアプリケーショングループを開きます。
- ③ BIPS画像プリントプログラムのアイコンをダブルクリックします。

Windows95から起動するには

- ① [スタート]メニューの[プログラム]メニューにある[RaaXアプリケーショングループ]メニューから [BIPS画像プリントプログラム]を選択します。あるいは、アイコンをダブルクリックします。

(2) 起動させると以下のようなシリアル番号入力を要求するダイアログボックスが表示されます。

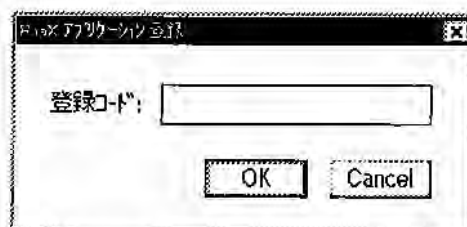


図4-1. シリアル番号入力ダイアログボックス

(3) シリアル番号を入力してください。シリアル番号は、フロッピーディスクのラベルに印刷されているかあるいは、RaaXアプリケーションをCD-ROMで提供されている場合は、CD-ROMのブックに印刷してあります。

4-1-2 終了方法

BIPPWINを終了するには

次のいずれかの操作を行ないます。

- ・ [ファイル]メニューから [終了] コマンドを選択します。
- ・ [Alt] + [F4] キーを押します。
- ・ BIPPWINウインドウのコントロールメニューボックスをダブルクリックします。

5 处理編

5 処理編

5-1 概要

通常印刷とコアモデル印刷

画像レイアウト、スケールなどを組み合わせて印刷する通常の印刷と実際のコアの実寸大で印刷するコアモデル印刷の機能があります。単・複ファイル両方の印刷用設定が可能です。

単ファイルと複ファイル印刷

画像を印刷する方法には、ひとつのファイルのみを印刷する場合と複数のファイルを印刷する場合の2とおりあります。

1. 単ファイル印刷（コアモデル）設定

BIP画像ファイルひとつのみについて印刷条件設定をおこない印刷できます。

2. 複ファイル（コアモデル）印刷設定

同一ドライブあるいはパス内にあるBIP画像ファイル複数について印刷条件設定をおこない一括して印刷できます。設定できる内容は単ファイル設定のときと比べて、深度範囲の指定以外は同じです。

コアモデルとは？

印刷結果を実際のコアの実寸大で印刷するものです。実物と比較できます。

1. 画像データの読み込み

画像ファイル(*.BIP)とデータファイル(*.BDT)を読み込みます。

2. 印刷フォーマットの設定

プリントの種々のフォーマットを指定します。

- (1)出力形式（展開画像/3次元画像/走向傾斜・開口量値欄/コメント欄の組合せ）
- (2)用紙1枚あたりの出力本数の指定
- (3)プリント深度区間の指定(全区間)
- (4)3次元画像の視点サイド（内側/外側）、視点位置（斜め上方/真横）、回転角度
- (5)画像1本あたりの深度スケール（9種類）指定
- (6)補正深度値の出力
- (7)亀裂の方向値（走向傾斜、傾斜方位、SKBモード）、開口量の出力指定
- (8)RGB毎の輝度の補正
- (9)バナー、ヘッダ、フッタの指定
- (10)用紙サイズ（A4/B4/A3）、用紙方向
- (11)コピー枚数

3. 印刷実行

画像の印刷

4. 書式管理

頻繁に設定する条件を登録しておき必要なときに使用します。

本プログラムでの基本的な作業の流れは以下のようになります。

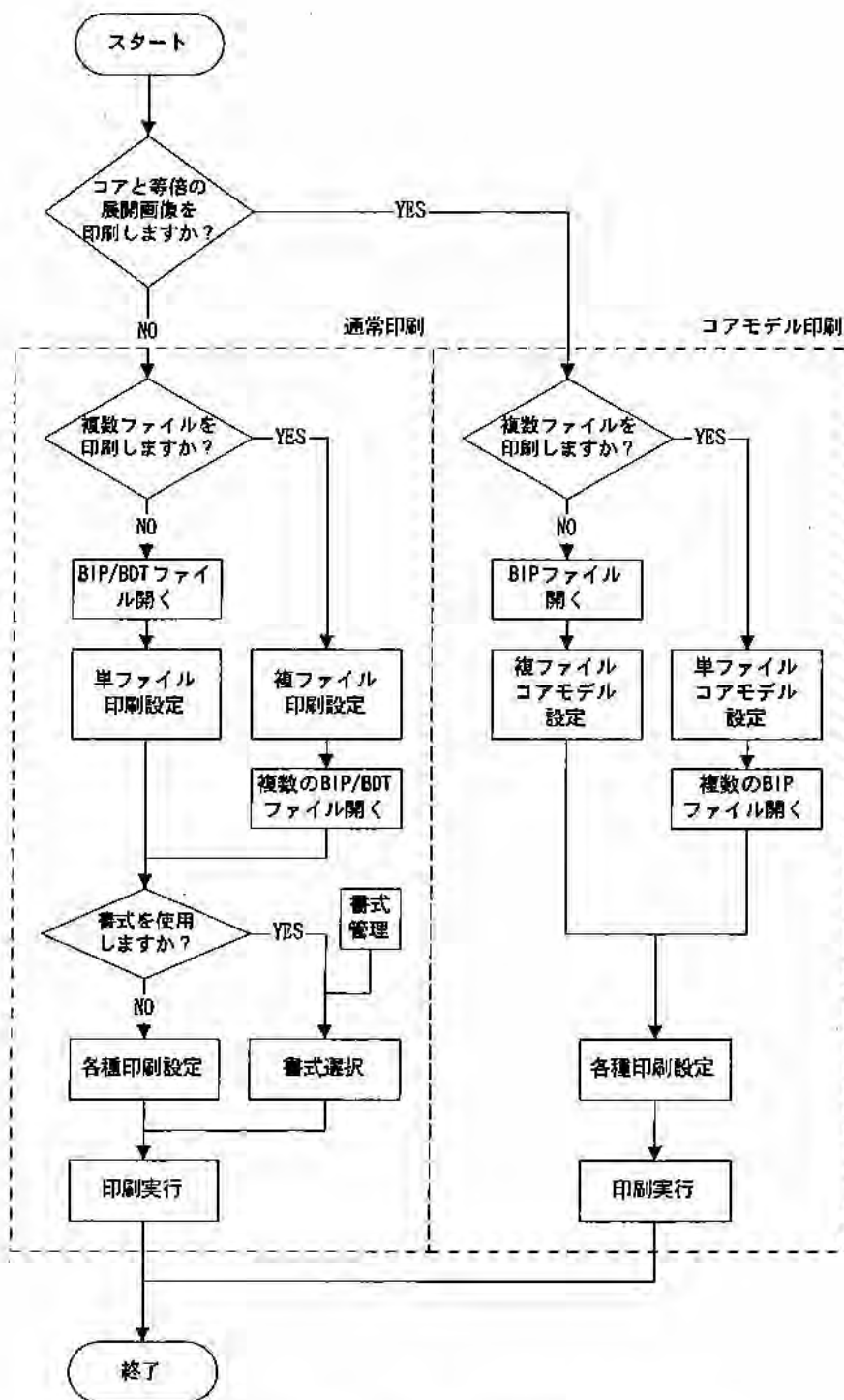


図5-1-1. プリント作業の基本的な流れ

本プログラムで印刷設定可能な項目は以下のようになります。

表5-1. 設定可能項目と対応ダイアログボックス

○：設定可能項目 －：設定不可項目

		印刷設定		コアモデル印刷設定		書式管理
		選択画像	全画像	選択画像	全画像	
メイン	ファイル選択	－	○	－	○	－
	書式の選択	○	○	－	－	○
	書式編集	－	－	－	－	○
	件名設定	○	○	－	－	－
	設定内容一覧	○	○	－	－	○
	印刷実行	○	○	○	○	○
画像情報設定	画像種別	○	○	－	－	－
	印刷する深度区間	○	－(全区間)	○	－(全区間)	－
	孔径値	○	○	○	○	○
	画像ブロック数/頁	○	○	－	－	○
	色補正	○	○	○	○	－
	3D画像視点設定	○	○	－	－	○
	テスト印刷	○	○	○	○	－
解析情報	深度情報	○	○	－	－	○
	亀裂情報	○	○	－	－	○
	開口幅	○	○	－	－	○
	切合い線	○	○	－	－	○
画像パターン	基本レイアウト	○	○	－	－	○
	スケール	○	○	－	－	○
	深度目盛り間隔	○	○	－	－	○
ページ設定	用紙サイズ	○	○	A4/A3	A4/A3	○
	用紙の方向	○	○	○	○	○
	用紙の余白	○	○	－	－	○
	バーナー	○	○	－	－	○
	ヘッダ	○	○	－	－	○
	フッタ	○	○	－	－	○
	－	○	○	－	－	○
簡易設定	画像パターン	－	－	－	－	○
	用紙サイズ	－	－	－	－	○
	用紙方向	－	－	－	－	○
	孔径	－	－	－	－	○
	画像長	－	－	－	－	○
	画像ブロック数	－	－	－	－	○
	付加情報	－	－	－	－	○

5-2 ファイルを開く

5-2-1 概要

画像のプリントの前に、以下のファイルを開く必要があります。

1. 画像ファイル(*.BIP)
2. データファイル(*.BDT)



注意

BDTファイルを選択しなくても画像のみ印刷できますが、亀裂情報などは印刷できません。

5-2-2 画像ファイルを選択する

ファイルを選択するには

1. [ファイル]-[画像選択]コマンドを選択すると、ファイル選択ダイアログボックスが開きます。

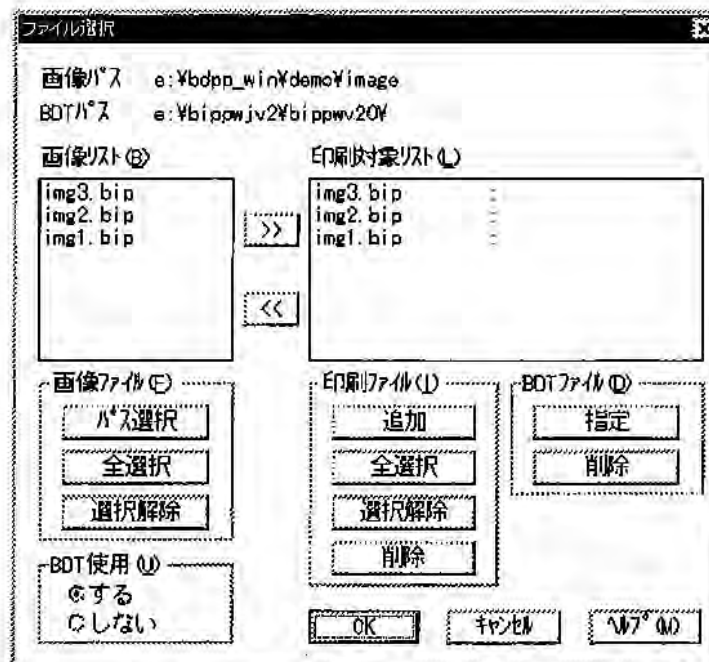


図 5-2. 1 ファイル選択ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、印刷するファイルを複数指定することもできます。



注意

複数ファイルを一括して印刷する場合は、全てのファイルに対して設定条件はすべて同一です。

パス選択

印刷したい複数ファイルが存在するパスを選択します。以下に示すようなダイアログボックスが表示されます。

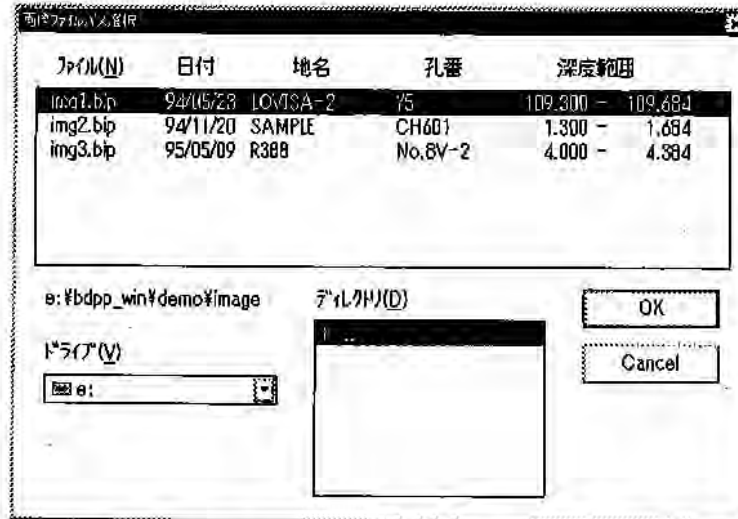


図 5-2. 2 ファイル選択ダイアログボックス

- ① ドライブとディレクトリボックスを使って希望のパスを選択するとファイル名とそのヘッダ情報が表示されます。
- ② <OK>ボタンを押します。ファイル選択ダイアログボックスに戻り画像リストボックス内に、選択したパスにあるBIPファイル名が表示されます。

全選択ボタン

画像リストに表示されている全てのBIPファイルを印刷対象として選択できます。選択されたファイルは反転表示されます。

ひとつずつ選択するには


<CTRL>キーを押しながらマウスで印刷対象として希望のファイルをクリックしていきます。選択されたファイルは反転表示されます。

選択解除


選択されているファイルが解除されます。解除されたファイルは、通常の表示に戻ります。

印刷対象ファイルを確認するには

画像リスト上で印刷対象ファイルを選択後、確定します。

- ① 画像リスト上で印刷対象ファイルが選択されている状態で  ボタンあるいは<追加>ボタンを選択します。
- ② ファイル名が印刷対象リスト上に表示されます。

印刷対象ファイルからはずすには

- ① 全選択あるいは、部分選択されている状態で  ボタンあるいは<削除>ボタンを選択します。
- ② ファイル名が印刷対象リスト上から除外されます。

BDTファイルも使うには

BDTファイルを使用するとBIP画像とともに走向傾斜等などの解析データも印刷することができます。

- ① BDT使用「する」をチェックします。



注意

「しない」にチェックしてあるとBDTファイルは選択することができません。

- ② BDTファイルをしようするファイルを印刷対象リスト上で選択します。
 ③ <指定>ボタンを選択します。以下のようなダイアログボックスが表示されます。

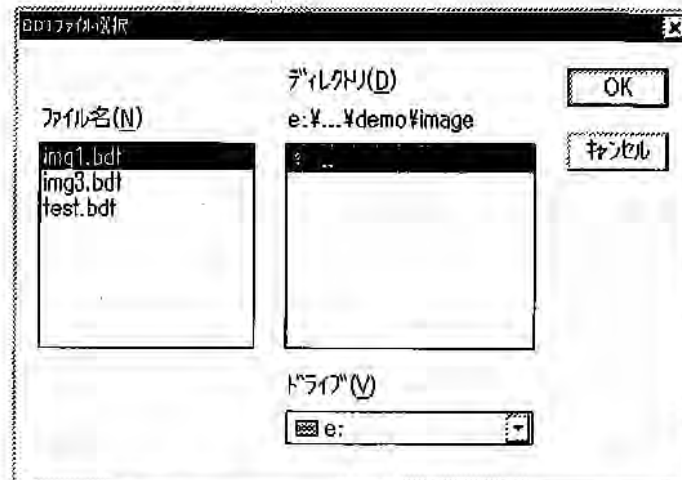


図 5-2. 3 BDTファイル選択ダイアログボックス

- ④ BDTファイルを選択します。<OK>ボタンを選択します。
 ⑤ もし希望のBIPファイルに対応したBDTファイルであれば、印刷対象リスト内のBIPファイルの右側にBDTファイル名が設定されます。対応していないBDTファイルである場合以下のようなメッセージが出力されます。

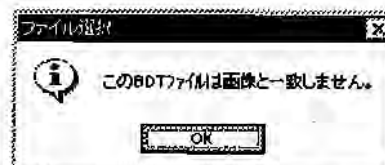


図 5-2. 4 メッセージダイアログボックス

- ⑥ <OK>ボタンを選択すると元のファイル選択ダイアログボックスに戻ります。

選択してあるBDTファイルをはずすには

- ① 印刷対象リスト内のBIPファイルとBDTファイルの行を選択します。
 ② <削除>ボタンを選択します。BDTファイル名が消えます。

もし印刷対象リスト内の選択条件でよければ<OK>ボタンを選択します。以下のようなウインドウが表示されます。

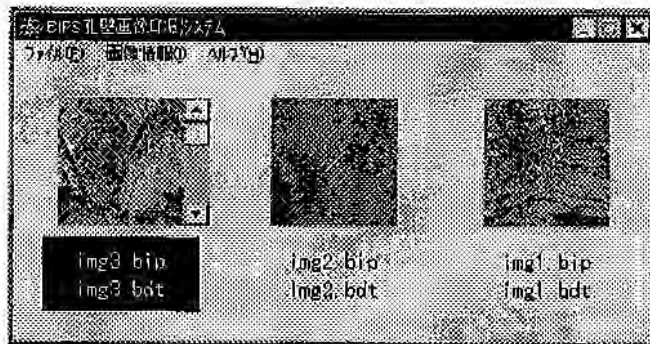


図 5-2. 5 選択ファイル表示ウィンドウ

ウィンドウ上に選択されたファイルのインデクス画像が表示されます。インデクス画像の下には画像ファイル名とBDTファイルが選択されていれば、そのファイル名も表示されます。このウィンドウから以下の処理を行います。

画像情報内容の確認

ヘッダ情報の編集

書式設定

印刷

操作方法

- ① インデクス画像上をクリックするとスクロールバーが表示されます。
- ② スクロールバーを使って他の深度の画像を表示させることができます。

画像情報内容を表示するには

- ① 画像情報について確認したいBIP画像をクリックします。
- ② [画像情報]-[ヘッダ項目表示]コマンドを選択します。以下に示すようなダイアログボックスが表示されます。



図 5-2. 6 画像情報表示ダイアログボックス

ヘッダ情報を編集するには

- ① ヘッダ情報を編集したいBIP画像をクリックします。
- ② [画像情報]-[ヘッダ項目編集]コマンドを選択します。以下に示すようなダイアログボックスが表示されます。

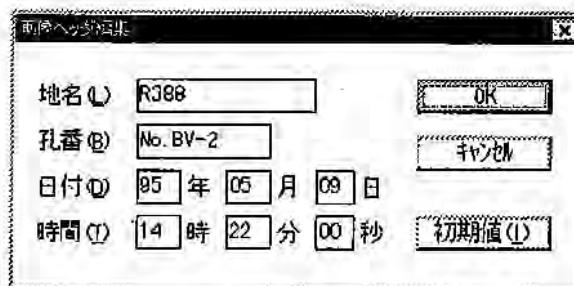


図 5-2. 7 画像ヘッダ情報編集ダイアログボックス

地名、孔番、日付、時間についてヘッダ情報の編集をおこないます。

注意

ここで編集したヘッダ情報は印刷に反映されますが、BIP、BDTファイルのヘッダ情報は、更新されません。

編集前の内容に戻すには
〈初期値〉ボタンを選択します。

個別画像の印刷

このウインドウ上でカーソルが位置付けられて選択されているひとつのファイルについて印刷条件設定をおこない印刷します。

参照

詳しい印刷設定方法については、「5-3 通常の印刷」を参照してください。

全画像の印刷

このウインドウ上に選択され表示されているすべてのファイルを一括印刷します。

参考

この場合画像ダイアログボックスでの深度範囲の指定が「全区間」以外は選択できなくなります。残りの設定については個別画像の印刷設定と同じですので「5-3 通常の印刷」を参照してください。

参照

詳しい印刷設定方法については、「5-3 通常の印刷」を参照してください。

ヘッダ項目表示・編集、個別ファイルの印刷は以下のオペレーションでも簡単に行なえます。

- ① それぞれの画像上で右マウスボタンをクリックするとメニューがあらわれます。
- ② メニューから項目を選択します。それぞれのダイアログボックスが表示されます。

5-3 通常の印刷

5-3-1 概要

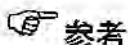
通常印刷する場合には、ひとつのファイルのみを印刷する場合と複数のファイルも印刷できます。

個別画像印刷設定

BIP画像ファイルひとつのみについて印刷条件設定をおこない印刷できます。

全画像印刷設定

同一ドライブあるいはパス内にあるBIP画像ファイル複数について印刷条件設定をおこない一括して印刷できます。



参考

設定できる内容は個別画像印刷設定のときと比べて、深度範囲の指定以外は同じです。

通常印刷の設定を行うには

[ファイル]-[画像印刷設定]コマンドの中から「個別画像」あるいは、「全画像」を選択します。印刷設定ダイアログボックスが表示されます。



注意

画像ファイルがオープンされていないとこのコマンドは選択できません。[ファイル]-[画像選択]コマンドを実行しBIPファイルオープンしてから実行してください。

ダイアログボックスは、以下の5種類の設定から構成されています。

- | | |
|----------------|---|
| メイン : | 印刷設定が総括されているダイアログボックスです。印刷に適用する書式を選択し印刷できます。ここからプリントを実行します。 |
| 画像情報設定 : | 深度範囲、画像本数、色調など画像固有情報について設定を行います。 |
| 解析情報設定 : | BIPSデータ処理プログラムによる解析結果について設定を行います。 |
| 画像ブロックパターン設定 : | 基本出力レイアウト、スケールなどの設定を行います。 |
| ページ設定 : | 用紙、ヘッダ、フッタなどのページに関する設定を行います。 |

それぞれの設定ダイアログボックスを表示させるにはダイアログボックス上部のそれぞれのボタンを選択します。

5-3-2 メイン設定

〈メイン〉ボタンを選択すると以下のようなダイアログボックスが表示されます。

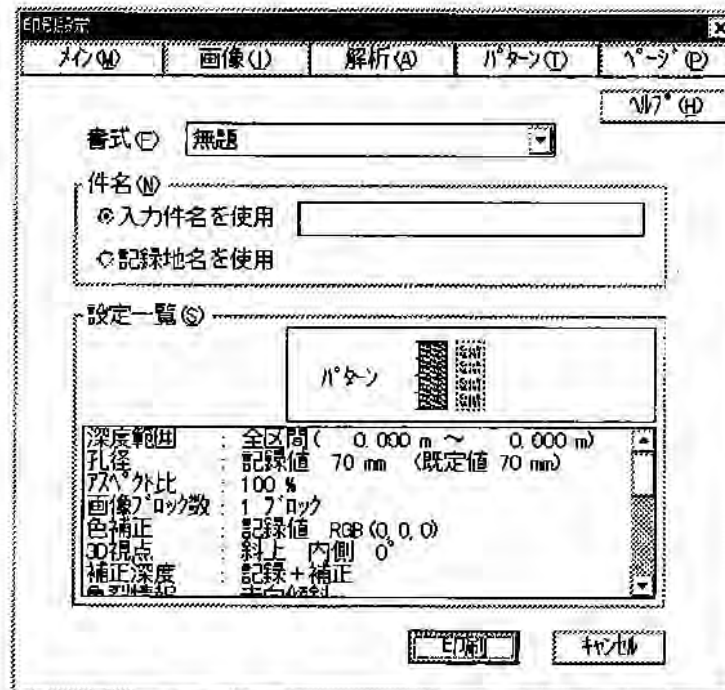


図 5-3. 1 印刷設定 メイン ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、書式選択、件名設定、設定されているレイアウトや設定状況を表示して確認できます。また、項目をダブルクリックすることで該当する設定ダイアログボックスが表示され簡単に設定・変更できます。

書式を選択するには

「書式」リストダウンボックスをクリックして登録済の書式を選択します。

参考

新しく書式を設定登録する場合は、[ファイル]-[印刷書式設定]を選択してください。

件名を設定するには

パターやページヘッダに印刷する件名を設定します。

入力件名を使用：任意に件名を設定できます。

記録地名を使用：BIPS画像のヘッダに記録されている地名が設定されます。

レイアウトを変更するには

パターン図上をクリックすると、画像ブロックパターン設定ダイアログボックスが表示されます。ここで設定します。

参照

詳しい設定方法は「5-3-5 印刷画像パターンの設定」を参照してください。

設定一覧の設定項目内容を変更するには

ダブルクリックすると該当する設定ダイアログボックスが表示されます。一覧表から設定できる項目を以下に示します。右はダブルクリックすると表示されるダイアログボックス名です。従ってダイアログボックス上部にあるこのボタンを選択しても同様に表示

され設定・修正ができます。

項目	ダイアログボックス名
深度範囲、孔径、アスペクト比、画像本数、色補正、3D視点	画像
補正深度、亀裂情報、開口幅、切合い	解析
スケール、深度目盛り、コメント領域幅	パターン
用紙、余白、バナー、ヘッダ、フッタ、ページ番号欄	ページ

ダイアログボックスで内の詳しい設定方法は、それぞれ以下のページ参照してください。

- 画像 → 「5-3-3 画像に関する情報の設定」
- 解析 → 「5-3-4 解析情報の設定」
- パターン → 「5-3-5 印刷画像パターンの設定」
- ページ → 「5-3-6 ページに関する情報の設定」

5-3-3 画像に関する情報の設定

〈画像〉ボタンを選択するか、あるいは、メインダイアログボックスの深度範囲、孔径、アスペクト比、画像本数、色補正、3D視点のいずれかの項目をダブルクリックすると表示されます。

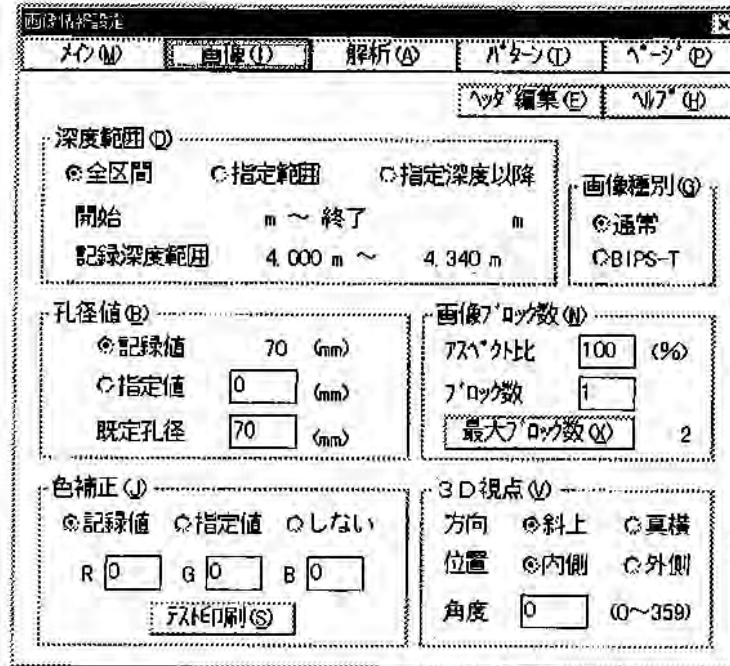


図 5-3. 2 印刷設定-画像情報設定ダイアログボックス

画像に関する情報の設定を行います。

☞ 参考

ダイアログボックス上部のボタンをクリックすると其々の設定ダイアログボックスを表示できます。

ヘッダ情報を編集するには
 選択されている画像ファイルについてヘッダ情報を編集できます。

[ヘッダ編集]ボタンを選択します。画像ヘッダ情報編集ダイアログボックスが表示されます。



参照

詳しい操作方法については「5-2 ファイルを開く」の「ヘッダ情報を編集するには」を参照してください。



注意

ここで編集したヘッダ情報は印刷に反映されますが、BIP、BDTファイルのヘッダ情報は、更新されません。

深度範囲

印刷する深度範囲を設定します。記録深度範囲には現在のオープンされているBIPS画像に記録されている深度範囲が表示されます。(選択ファイル設定時のみ)

全区間： 画像の全深度区間を印刷します。

指定範囲： 印刷する深度区間を下欄の「開始深度」と「終了深度」で指定できます。

指定深度以降： 指定した深度以降の画像を印刷します。下欄の「開始深度」にその深度を指定します。



注意

複ファイル設定のときは、設定できる深度範囲は「全区間」のみです!!

画像種別

印刷する画像の種類を選択します。普通は「通常」のままでよいです。

通常： BIPS画像を印刷するときに選択します。

BIPS-T： BIPS-T画像を印刷するときに選択します。

孔径値

印刷するときに使う孔径値を指定します。

記録値： BIPS画像に記録されている孔径値を使用します。

指定値： 「指定孔径」欄に指定する孔径値を使用します。

既定孔径： 既定孔径値を設定します。

画像ブロック数

用紙1ページに印刷する画像ブロックパターン数を設定します。

アスペクト比

円周長の比率を設定します。

例：孔径値=70mm、アスペクト比=100%の場合展開画像は横幅220mmで印刷されます。

ブロック数： 基本レイアウトのフォーマットで1ページにいくつ印刷するか指定します。「最大本数」で示される本数以下の値を設定してください。

最大ブロック数： 現在の設定(アスペクト比、画像パターン、用紙サイズ・方向)で指定できる最大ブロック数が表示されます。ボタンをクリックすると以下に示すようなダイアログボックスが開きます。



図 5-3. 3 画像印刷サイズ情報ダイアログボックス

現在の設定での展開画像、3次元画像、画像ブロックの幅と高さの状況を知ることができます。

参考

エラー状況が表示されている場合は、画像が印刷できません。原因としては以下の事項が考えられます。このような場合は、設定を変更して印刷できるように修正してください。

- ・ブロック数が多い。
- ・ブロックサイズが大きい。(ブロックパターンに設定されているレイアウトの種類が多い)
- ・展開画像が太すぎる。(アスペクト比が大きい。用紙が小さい。)
- ・展開画像が細すぎる。(アスペクト比が小さい。)

色補正

画像の印刷色を指定します。

- 記録値： BIPS画像に記録されている色を指定します。
- 指定値： 下欄の「R」「G」「B」に指定することができます。
指定範囲：-99～+99
- しない： R=0, G=0, B=0の設定（現場で計測時と同じ）で指定します。
- テスト印刷ボタン： 画像をテスト印刷します。このボタンを選択すると、カラー調整テスト印刷ダイアログボックスが表示されます。

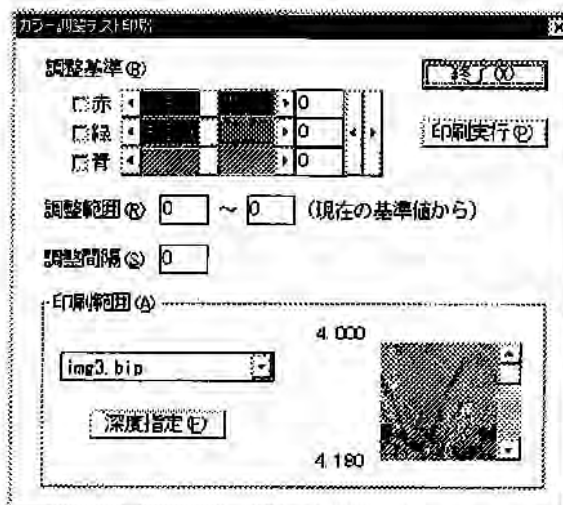


図 5-3. 4 カラー調整テスト印刷ダイアログボックス

中心となる色の基準値を設定してそれを中心にある範囲内で色調を段階的に変化させてテスト印刷することができます。

調整基準

調整したい基準色値を設定します。

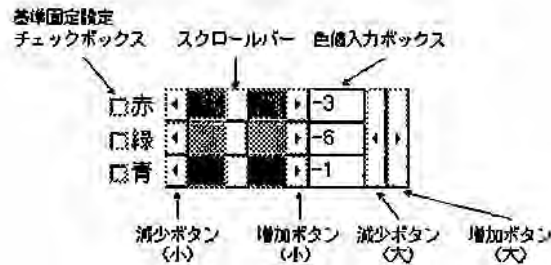


図 5-3. 5 調整基準ボタン

基準固定設定チェックボックス：色値を変化させたい色の左のチェックボックスをチェックします。固定させておく場合は、チェックしません。

減少ボタン (小)：クリックするごとに各々の色値が1ずつ減少します。

減少ボタン (大)：クリックするごとに全ての色値が1ずつ減少します。

増加ボタン (小)：クリックするごとに各々の色値が1ずつ増加します。

増加ボタン (大)：クリックするごとに全ての色値が1ずつ増加します。

スクロールバー：マウスを使い移動させて変更できます。

色値入力ボックス：直接色値を入力します。入力範囲：-99～99

調整範囲： テスト印刷したい色の範囲を指定します。

調整間隔： 調整範囲の中での間隔を指定します。

印刷範囲

テスト印刷する画像の印刷範囲を設定します。リストダウンボックスには、現在、選択されているファイル名が表示されます。右側には、そのファイルがインデックス表示されます。変更する場合は、この中で表示されているファイルを選択できます。

深度指定： このボタンを押すと以下のようなダイアログボックスが表示されます。

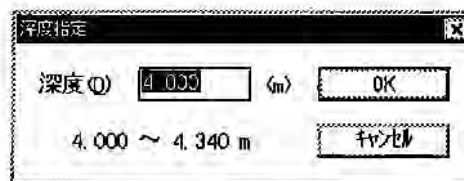


図 5-3. 6 テスト印刷深度範囲指定ダイアログボックス

テスト印刷を開始する深度を指定します。入力ボックスの下には、指定できる深度範囲が表示されます。

① 「深度」ボックスに印刷開始したい深度を入力します。

② <OK>ボタンを選択します。インデックス表示されている画像が、入力した深度からの表示に変更されます。

③ <印刷実行>ボタンを押します。テスト印刷が開始されます。

印刷実行ボタン：テスト印刷が実行されます。

☞ 参考

インデクス画像のスクロールバーを操作してもテスト印刷範囲を指定できます。

テスト印刷設定例

黄色を変化させてテスト印刷してみる具体例を以下に示します。

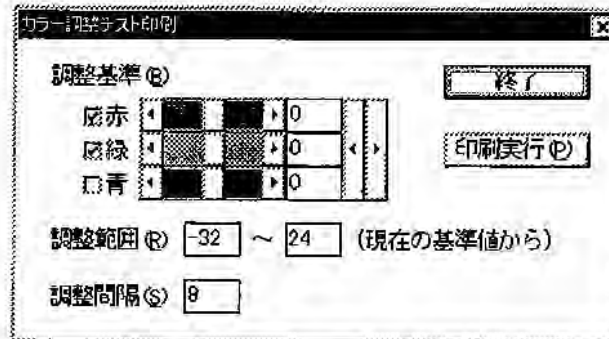


図 5-3. 7 テスト印刷設定例

(赤、緑、青) = (0, 0, 0)を基準にB (青)を0に固定して、RG (赤と緑)を-32から32のまで同時に8ずつ変化させて(すなわち黄色を変化させる)テスト印刷します。8パターンの出力例が出力されます。

📖 参照

テスト印刷の出力例は、「9 付録—プリントアウト例」の「図9-1 テストプリントアウト出力例」を参照してください。

3D視点

3D画像を印刷するときの視点位置を設定します。

方向：「斜め上」から見た方向か「真横」から見た方向を指定します。

位置：孔壁の内側をみたものか、外側からみた画像 (コアイメージ) かを指定します。

角度：北を0°として時計回りに回転させる角度を指定します。

5-3-4 解析情報の設定

〈解析〉ボタンを選択するか、あるいは、メインダイアログボックスの補正深度、亀裂情報、開口幅、切合いのいずれかの項目をダブルクリックすると表示されます。

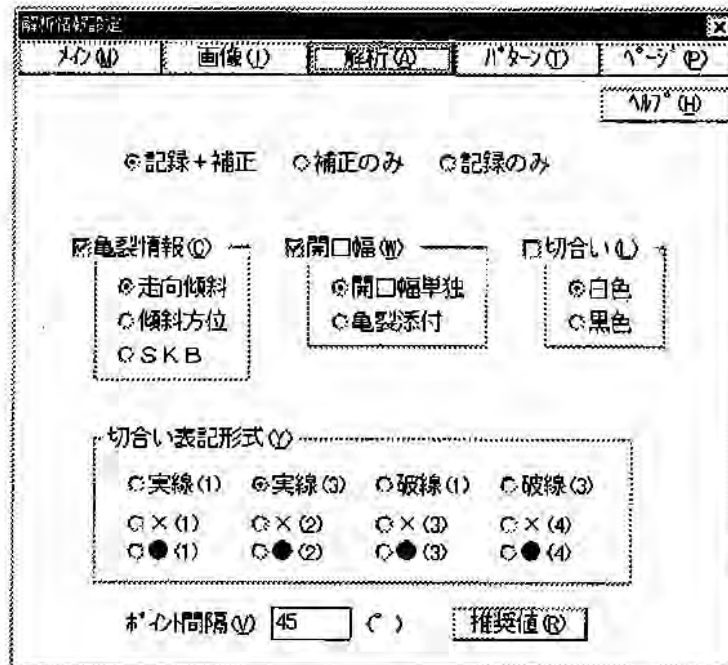


図 5-3. 7 印刷設定 - 解析情報設定ダイアログボックス

BIPS データ処理プログラムを使って解析された結果をどのように印刷するか設定します。

参考

ダイアログボックス上部のボタンをクリックすると其々の設定ダイアログボックスを表示できます。

深度情報

深度情報の印刷状態について設定します。記録深度とはBIPファイルに記録されている計測時の深度情報のことです。補正深度は、BIPSデータ処理プログラムで設定された記録深度に対する補正深度のことです。

記録+補正：記録深度と補正深度を同時に出力します。この場合記録深度は、黒で補正深度は、赤で印刷されます。

補正のみ：補正深度のみで印刷されます。

しない：記録深度のみで印刷されます。

亀裂情報

亀裂の方向値を印刷する場合、下記の3種類のモードから選択して表示できます。印刷する場合は、チェックボックスをチェックします。

走向傾斜：通常の走向傾斜値の表現です。(例：N23E 59E)

傾斜方位：最大傾斜の方向とその傾斜で表現します。(例：113/59)

SKB：最大傾斜の方向から90°反時計回りの方向を走向として表現します。(例：023/59) スウェーデンのSKBで採用されている表現方法です。

開口幅

開口幅情報を印刷します。以下の2種類の形式で印刷します。印刷する場合は、チェックボックスをチェックします。

開口幅単独：開口幅情報のみを印刷します。

亀裂添付：亀裂と関連つけられている開口量値を走向傾斜と並べて印刷します。

印刷例を以下に示します。

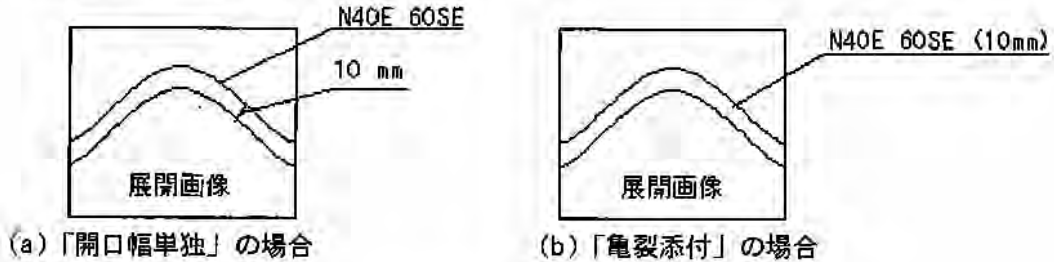


図 5-3. 8 開口幅の2種類の印刷例

切り合い

展開画像上への亀裂の切り合い線重ねてを印刷します。印刷する場合は、チェックボックスをチェックします。

表示色： 印刷色を「白」か「黒」から選択します。

切り合い表記形式：印刷されるパターンを選択します。実線、破線、×、●と太さ・大きさを選択できます。

表 5-3. 9 選択できる表記形式と太さ大きさの対応表

表記形式	太さ・大きさ				
	0.5	1	1.5	2.0	3
実線	-	あり	-	-	あり
破線	-	あり	-	-	あり
×	あり	-	あり	あり	-
●	あり	-	あり	あり	-

ポイント間隔：表記形式に「●」か「×」が選択されている場合、プロットする間隔を指定できます。設定可能範囲：20～90°

推奨値ボタン：このボタンを選択するとポイント間隔ボックスにその時の設定条件に見合ったポイント間隔が設定されます。

5-3-5 印刷画像パターンの設定

「パターン」ボタンを選択するか、あるいは、メインダイアログボックスのスケール、深度目盛り、コメント領域幅のいずれかの項目をダブルクリックすると表示されます。

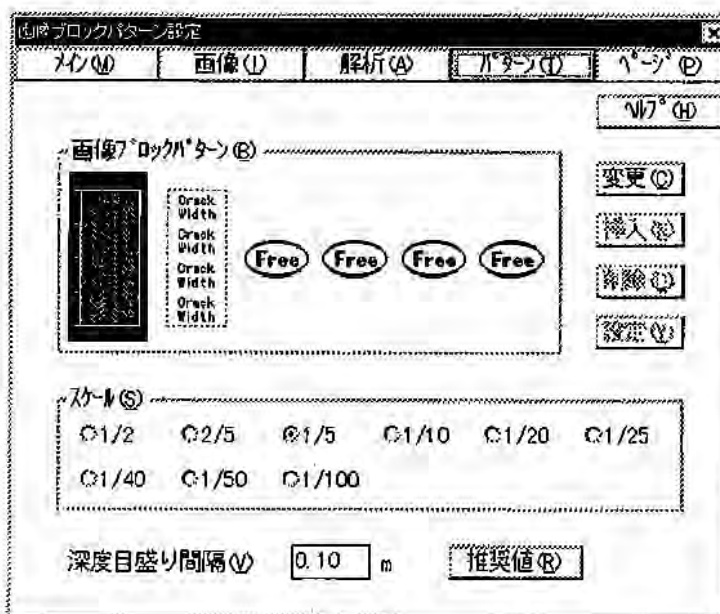


図 5-3. 9 印刷設定-画像ブロックパターン設定ダイアログボックス

印刷時の画像の並び方を定義するための基本レイアウト（ここでは、画像ブロックパターンと呼ぶ）、スケール、深度目盛りの設定を行います。

画像ブロックパターン

展開画像、3D画像、切り合い線、走向傾斜値と開口量、コメント欄（枠つき）、コメント欄（枠なし）の6種類のパターンから任意の組み合わせを選択できます。ここには、現在の設定状況が表示されます。

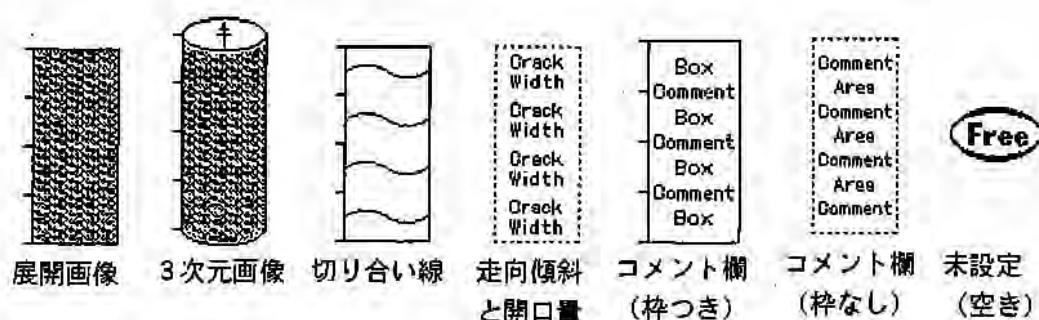


図 5-3. 10 画像ブロックパターン凡例

注意

設定規則

1. 印刷は、左から順番に並んでいるパターンで印刷されます。
2. コメント欄（枠あり/なし両方）のパターンは複数設定できます。それ以外は1種類のみです。
3. 左端には必ず、「展開画像」、「3次元画像」、「走向傾斜と開口量画像」のいずれかを設定してください。
4. 「展開画像」は左端にのみ設定できません。

5. 選択時、黒線で表示されているパターン以外は選択できません。
6. パターン別に配置の規則があります。下表を参照してください。

表 5. 8 パターン種別ごとの配置可能位置対応表

パターン種別	左からの順番位置					
	1	2	3	4	5	6
展開画像	○	×	×	×	×	×
3D画像	○	○	○	○	○	○
切り合い線画像	○	○	○	○	○	○
走向傾斜と開口量	×	△	△	△	△	△
コメント欄 (枠あり)	×	◎	◎	◎	◎	◎
コメント欄 (枠なし)	×	◎	◎	◎	◎	◎

[凡例]

- ：ひとつのみ配置できます。
- ◎：複数配置できます。
- △：展開画像と切り合い線画像の左側には配置できません。
- ×：配置できません。

新規に設定するには

- ① 設定したい場所にある **Free** をクリックすると、レイアウト一覧が表示されます。
- ② 希望するパターンを選択し〈OK〉ボタンを押します。
- ③ 選択したパターンが、ダイアログボックス上に表示されます。

変更するには

- ① 変更したいパターン上にカーソルを位置付けます。(この時表示が反転します。)
- ② ダイアログボックス右側の〈変更〉ボタンを選択します。ブロックパターン図が表示されます。
- ③ 希望の図を選択し〈OK〉ボタンを選択します。

挿入するには

- ① 挿入したいパターン上にカーソルを位置付けます。(この時表示が反転します。)
- ② ダイアログボックス右側の〈挿入〉ボタンを選択します。ブロックパターン図が表示されると同時にカーソル上にあったパターンが右側に移動し、挿入個所が **Free** に変わります。希望の図を選択し〈OK〉ボタンを選択します。

削除するには

- ① 削除したいパターン上にカーソルを位置付けます。(この時表示が反転します。)
- ② ダイアログボックス右側の〈削除〉ボタンを選択します。そのまま、削除されます。

切り合い線の太さの設定

切り合い線パターンが選択されている時、その中に描画される切り合い線の太さを指定します。

- ① 選択され画像ブロックパターン上に表示されている切り合い線パターンを選択します。
- ② 設定ボタンを選択すると以下のようなダイアログボックスが表示されます。

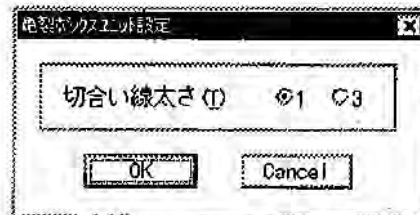


図 5-3. 11 切り合い線太さ選択ダイアログボックス

③ 太さを選択し「OK」ボタンを選択します。

切り合い線を、展開画像上に重ねて印刷する場合は、解析ダイアログボックス内の切り合い表記形式で設定してください。

スケール：スケールを選択します。

現在のスケールを変更した場合以下のようなダイアログボックスが開きます。

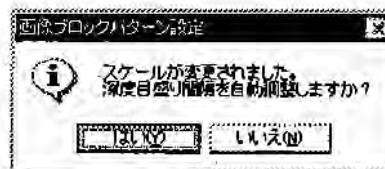


図 5-3. 12 画像ブロックパターン設定ダイアログボックス

スケール変更に伴う深度目盛り間隔の変更を自動で行なうか否かの設定です。

はいを選択： 変更されたスケールに応じた深度目盛り間隔値の推奨値がダイアログボックス下の深度目盛り間隔ボックスに設定されます。

いいえを選択： スケール変更後の深度目盛り間隔は元のままです。

参考

各スケールでの用紙サイズに印刷可能な1ブロック当たりの長さは下表のようになります。

表 5. 8 スケールと用紙サイズ対応表

用紙	スケール								
	1/2	2/5	1/5	1/10	1/20	1/25	1/40	1/50	1/100
A4 縦	0.400	0.500	1.000	2.000	4.000	5.000	8.000	10.000	20.000
A4 横	0.200	0.250	0.500	1.000	2.000	2.500	4.000	5.000	10.000
B4 縦	0.500	0.625	1.250	2.500	5.000	5.250	10.000	12.500	25.000
B4 横	0.300	0.375	0.750	1.500	3.000	3.750	6.000	7.500	15.000
A3 縦	0.600	0.750	1.500	3.000	6.000	7.500	12.000	15.000	30.000
A3 横	0.400	0.500	1.000	2.000	4.000	5.000	8.000	10.000	20.000

単位：メートル

深度目盛り間隔

画像左側に印刷される深度目盛り間隔を設定します。

推奨値： このボタンを選択すると、現在の設定条件でもっとも最適な深度目盛り間隔の値が深度目盛り間隔に設定されます。

コメント領域幅：コメント欄（枠あり/なしとも）の印刷幅を設定します。

5-3-6 ページに関する情報の設定

〈ページ〉ボタンを選択するか、あるいは、メインダイアログボックスの用紙、余白、バナー、ヘッダ、フッタ、ページ番号欄のいずれかの項目をダブルクリックすると表示されます。

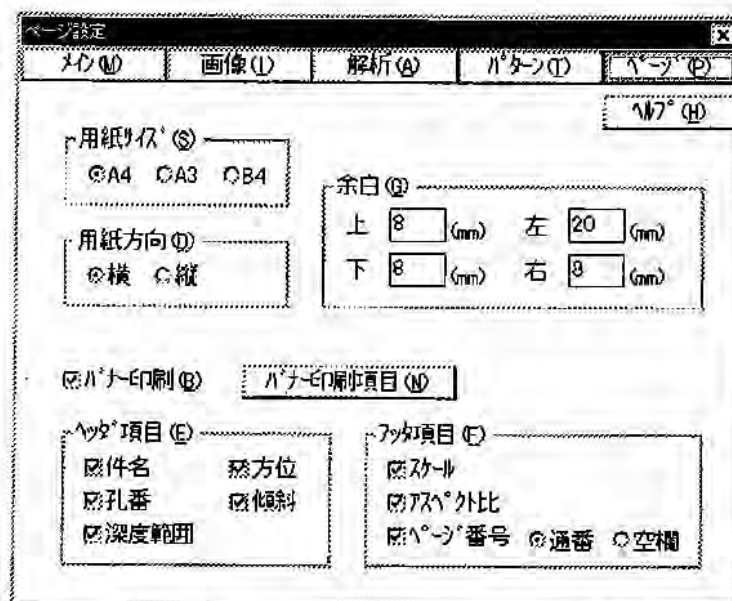


図 5-3.13 印刷設定-ページ設定ダイアログボックス

印刷する用紙に関する設定を行います。

用紙サイズ：「A4」「A3」「B4」の3種類のうちから選択します。

用紙方向：用紙方向を「横」「縦」から選択します。

余白：上、下、左、右のマージンを設定します。

バナー印刷

一枚目にバナーを印刷する場合、チェックをオンにします。

バナー印刷項目ボタン：このボタンを選択すると以下のようなダイアログボックスが表示されます。

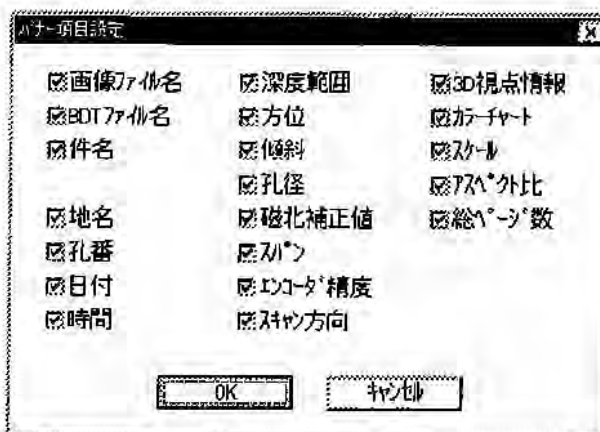


図 5-3.14 バナー項目設定ダイアログボックス

画像ファイル名：印刷対象となっているBIPSファイル名
 BDTファイル名：印刷対象となっているBDTファイル名
 件名：メインダイアログボックスで設定された件名
 地名：BIPファイルに記録されている地名
 孔番：BIPファイルに記録されている孔番
 日付：BIPファイルに記録されている日付
 時間：BIPファイルに記録されている時間
 深度範囲：画像全体の記録深度範囲
 方位：BDTファイルに記録されているボーリング孔の方位
 傾斜：BDTファイルに記録されているボーリング孔の傾斜
 孔径：画像ダイアログボックスで設定された値
 磁北補正值：BIPファイルに記録されている値
 スパン：BIPファイルに記録されている値
 エンコーダ精度：BIPファイルに記録されている値
 スキャン方向：BIPファイルに記録されている値
 3D視点情報：画像ダイアログボックスで設定された値
 カラーチャート：
 スケール：パターンダイアログボックスで設定された値
 アスペクト比：画像ダイアログボックスで設定された値
 総ページ数：

① バナーに印刷したい項目をチェックします。

② <OK>ボタンを選択します。

ヘッダ項目

ヘッダとして印刷する項目を設定します。設定できる項目は、以下のとおりです。

件名：メインダイアログボックスで設定された件名
 孔番：BIPファイルに記録されているボーリング孔の孔番
 方位：BDTファイルに記録されているボーリング孔の方位
 傾斜：BDTファイルに記録されているボーリング孔の傾斜
 深度範囲：画像全体の記録深度範囲

フッタ項目

フッタとして印刷する項目を設定します。設定できる項目は、以下のとおりです。

スケール：パターンダイアログボックスで設定された画像スケール値
 アスペクト比：画像ダイアログボックスで設定されたアスペクト比
 ページ番号：「通番」か「空欄」にするか選択します。

5-3-7 全画像の印刷（一括印刷）

複数画像を選択して一括印刷することができます。設定できる内容は個別画像印刷設定のときと比べて、深度範囲の指定以外は同じです。

複数画像ファイルを選択する

[ファイル]-[画像選択]コマンドを選択します。ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。



参照

複数ファイルの選択の詳細については、「5-2-2 ファイルのオープン」を参照してください。

複数ファイルの印刷設定をおこなうには

[ファイル]-[通常印刷]-[全画像]コマンドを選択します。



注意

画像ダイアログボックスでの深度範囲の指定が「全区間」以外は選択できなくなります。他の設定については個別画像の印刷設定と同じですので「5-3 通常の印刷」を参照してください。

5-4 コアモデルの印刷

コアモデルの印刷方法にも選択コアモデル印刷と全コアモデル印刷の2種類あります。

個別コアモデル印刷設定

BIP画像ファイルひとつのみについて印刷条件設定をおこない印刷できます。

全コアモデル印刷設定

同一ドライブあるいはパス内にあるBIP画像ファイル複数について印刷条件設定をおこない一括して印刷できます。



参考

複数ファイルの選択方法については、「5-2 ファイルオープン」を参照してください。



参照

コアモデル印刷の際は、BDTファイルは必要ありません。



注意

コアモデル印刷の設定を行うには

[ファイル]-[コアモデル印刷]コマンドの中から「個別画像」あるいは、「全画像」を選択します。コアモデル印刷設定ダイアログボックスが表示されます。

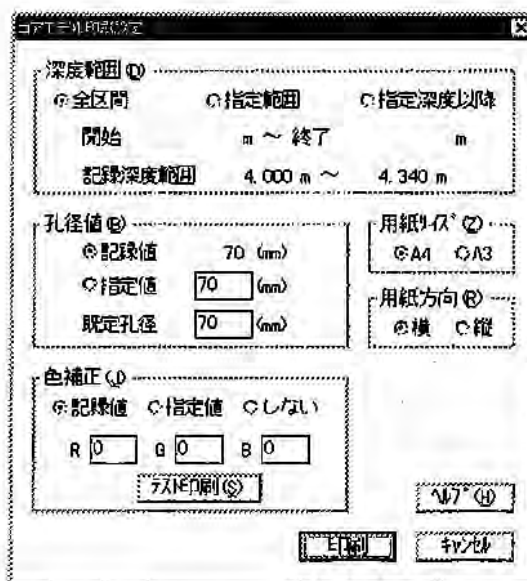


図 5-4. 1 コアモデル印刷設定ダイアログボックス

コアモデル印刷用の設定をおこないます。深度範囲、孔径値、用紙サイズ・方向、色補正の設定のみおこなえます。



参照

詳しい設定方法については、「5-3-3 画像に関する情報の設定」を参照してください。

その他注意事項

深度範囲： 複ファイル設定のときは、設定できる深度範囲は「全区间」のみです。

用紙サイズ： コアモデル印刷の場合は、B4用紙は選択できません。

印刷するには

もし設定条件がよければ<印刷>ボタンを選択します。印刷開始します。

5-5 書式の設定

5-5-1 概要

頻繁に使う設定条件を書式として登録して印刷時に使うことができます。

書式設定するには

- ① [ファイル]-[印刷書式設定]コマンドを選択します。以下のようなダイアログボックスが表示されます。

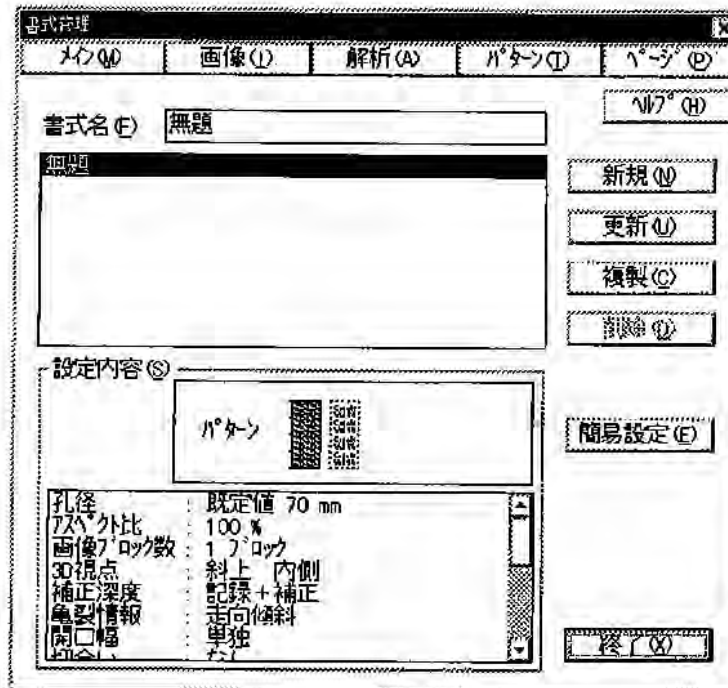


図 5-5.1 書式管理-メインダイアログボックス

5-5-2 メイン設定

書式設定についての総括ダイアログボックスです。他の種類の書式設定用ダイアログボックス表示中は、〈メイン〉ボタンを選択すると表示されます。

書式を編集するには

書式名

現在選択されている書式が表示されます。書式名欄下のボックスに設定された書式の一覧が表示されています。

書式を選択するには

- ① 書式名欄下のボックス内の一覧から希望する書式をマウスでクリックして選択します。
- ② 選択された書式が反転表示され、書式名欄にその書式が表示されます。

書式を新規に作成するには

- ① 〈新規〉ボタンを選択します。以下の示すようなダイアログボックスが表示されます。

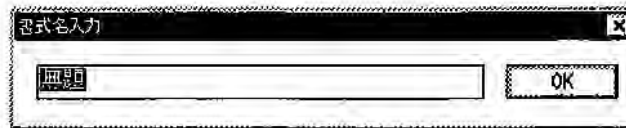


図 5-5.2 書式入力ダイアログボックス

- ② 表示されたときは、「無題」と表示されています。
- ③ 任意の書式名を入力します。〈OK〉ボタンを選択すると書式名欄と書式名一覧に入力された書式名が表示されます。

更新するには

- ① 書式名一覧中の更新したい項目をクリックして選択します。
- ② 〈更新〉ボタンをクリックします。以下のような確認ダイアログボックスが表示されます。

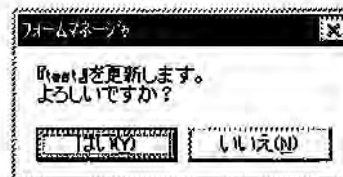


図 5-5.3 書式更新確認メッセージダイアログボックス

- ③ 〈はい〉を選択すると更新されます。〈いいえ〉を選択すると更新されません。

複製するには

- ① 内容を複製したい書式名を書式名一覧からマウスをクリックして選択します。
- ② 〈複製〉ボタンを選択すると、新規入力時と同じ、書式名入力ダイアログボックスが表示されます。
- ③ 任意の書式名を入力します。〈OK〉ボタンを選択すると書式名欄と書式名一覧に入力された書式名が表示されます。

書式を削除するには

- ① 削除したい書式名を書式名一覧からマウスをクリックして選択します。
- ② 〈削除〉ボタンを選択すると、以下のような確認ダイアログボックスが表示されます。

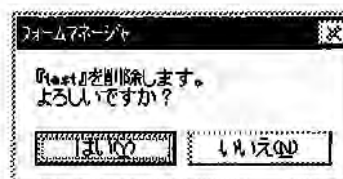


図 5-5.4 書式削除確認メッセージダイアログボックス

- ③ 〈はい〉を選択すると更新されます。〈いいえ〉を選択すると更新されません。

レイアウトを変更するには

- ① パターン図上をクリックすると、画像ブロックパターン設定ダイアログボックスが表示

されます。ここで設定します。



参照

詳しい設定方法は「5-3-5 印刷画像パターンの設定」を参照してください。

設定内容を変更するには

ダブルクリックすると該当する設定ダイアログボックスが表示されます。一覧表から設定できる項目を以下に示します。右はダブルクリックすると表示されるダイアログボックス名です。従ってダイアログボックス上部にあるこのボタンを選択しても同様に表示され書式設定・修正ができます。

項目	ダイアログボックス名
孔径、アスペクト比、画像本数、3D視点	画像
深度情報、亀裂情報、開口幅、切り合い線	解析
スケール、深度目盛り、コメント領域幅	パターン
用紙、余白、バナー、ヘッダ、フッタ、ページ番号欄	ページ



参照

ダイアログボックスで内の詳しい設定方法は、それぞれ以下のページ参照してください。

画像	→ 「5-3-3 画像に関する情報の設定」
解析	→ 「5-3-4 解析情報の設定」
パターン	→ 「5-3-5 印刷画像パターンの設定」
ページ	→ 「5-3-6 ページに関する情報の設定」



参考

書式のデフォルト値

レイアウト：	展開画像 + 走向傾斜・開口量
孔径：	既定値 70mm
アスペクト比：	100%
画像本数：	1本
3D視点：	方向=斜め上 位置=内側
深度情報：	記録 + 補正值
亀裂情報：	走向傾斜
開口幅：	単独
切り合い線：	なし
スケール：	1/5
深度目盛り間隔：	0.1m
コメント領域幅：	50mm
用紙：	A4 横
余白：	左 (20mm) 上 (8mm) 右 (8mm) 下 (8mm)
バナー：	あり 全項目 20/20
ヘッダ：	全項目 5/5
フッタ：	全項目 3/3
ページ番号欄：	通常

5-5-3 簡易設定

簡易設定では、以下に示すような比較的頻繁に設定を変更する項目については設定することができます。

- 画像パターン
- 用紙サイズ・方向
- 付加情報
- 孔径
- 孔長/ブロック
- 画像ブロック数/頁

簡易設定するには

〈簡易設定〉ボタンをクリックすると以下に示すようなダイアログボックスが表示されます。

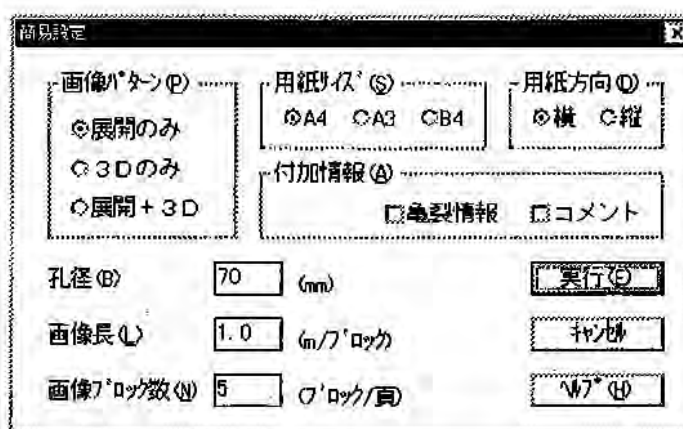


図 5-5.5 簡易設定ダイアログボックス

- 画像パターン： 「展開のみ」「3Dのみ」「展開+3D」のうちから選択します。
- 用紙サイズ： 「A4」「A3」の2種類のうちから選択します。
- 用紙方向： 用紙方向を「横」「縦」から選択します。
- 付加情報： 「亀裂情報」や「コメント」を付加させる場合に選択します。
- 孔径： 印刷するときにする孔径値を指定します。
- 孔長/ブロック： 1画像ブロックあたりの画像長を指定します。
- 画像ブロック数/頁： 1ページあたりの画像ブロック数を指定します。

5-5-4 画像に関する情報の設定

〈画像〉ボタンを選択するか、あるいは、メインダイアログボックスの孔径、アスペクト比、画像本数、3D視点のいずれかの項目をダブルクリックすると、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

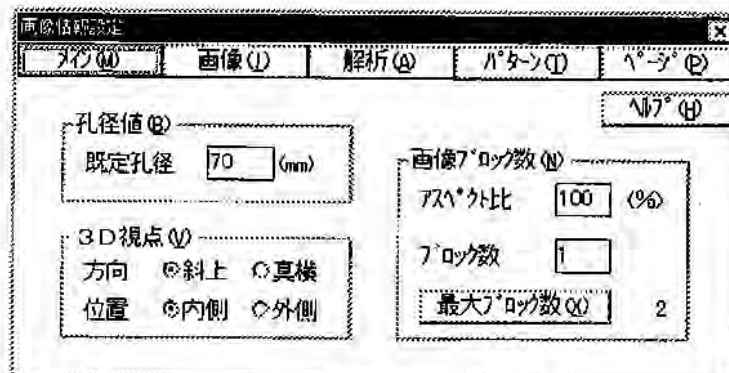


図 5-5.6 書式設定-画像情報設定ダイアログボックス

画像に関する情報の書式設定を行います。他の種類の書式設定用ダイアログボックス表示中は、〈画像〉ボタンを選択すると表示されます。

ここでは以下に示す項目について設定できます。

- 孔径値
- 画像ブロック数
- アスペクト比
- 3D視点




参照

これらの詳しい設定については選択(全)画像印刷設定と同様ですので「5-3-3 画像に関する情報の設定」を参照してください。

5-5-5 解析情報の設定

〈解析〉ボタンを選択するか、あるいは、メインダイアログボックスの補正深度、亀裂情報、開口幅、切合いのいずれかの項目をダブルクリックすると以下のようなダイアログボックスが表示されます。

 参考

このダイアログボックスは、個別（全）画像印刷設定の時と同じです。

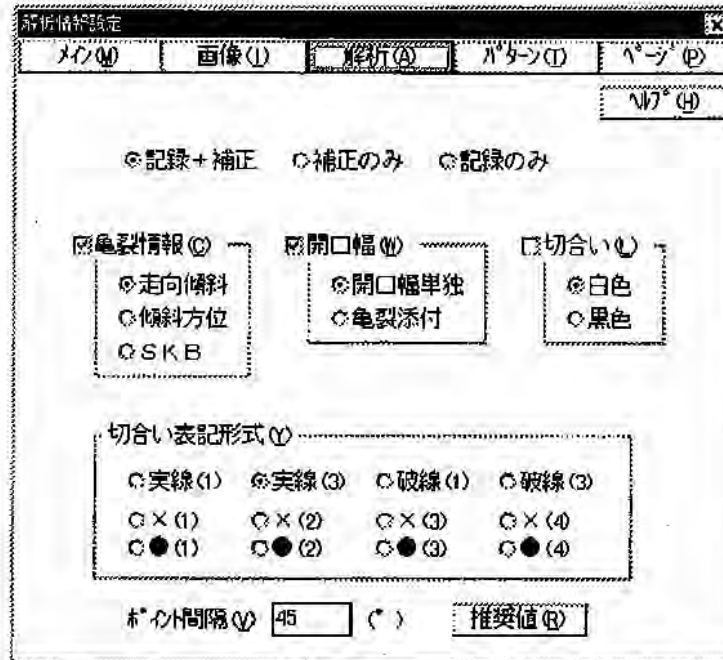


図 5-5.7 書式設定－解析情報設定ダイアログボックス

BIPSデータ処理プログラムを使って解析された結果をどのように印刷するか書式設定します。他の種類の書式設定用ダイアログボックス表示中は、〈解析〉ボタンを選択すると表示されます。

ここでは以下に示す項目について書式設定できます。

- 深度情報
- 亀裂情報
- 開口幅情報
- 切り合い線に関する情報

 参照

これらの詳しい設定については個別（全）画像印刷設定と同様ですので「5-3-4 解析情報の設定」を参照してください。

5-5-6 印刷画像パターン設定

〈パターン〉ボタンを選択するか、あるいは、メインダイアログボックスのスケール、深度目盛り、コメント領域幅のいずれかの項目をダブルクリックすると以下のようなダイアログボックスが表示されます。

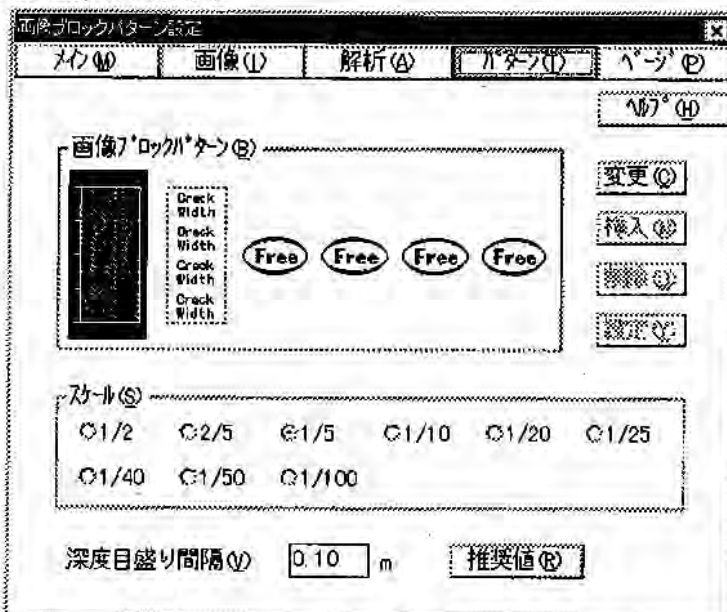


図 5-5.8 書式設定-画像ブロックパターン設定ダイアログボックス

印刷時の画像の並び方を定義するための基本レイアウト（ここでは、画像ブロックパターンと呼ぶ）、スケール、深度目盛りの書式設定を行います。他の種類の書式設定用ダイアログボックス表示中は、〈パターン〉ボタンを選択すると表示されます。

ここでは以下に示す項目について書式設定できます。

- 画像ブロックパターン
- スケール
- 深度目盛り間隔



参照

これらの詳しい設定については、個別（全）画像印刷設定と同様ですので「5-8-5 印刷画像パターン設定」を参照してください。

コメント領域幅の設定

コメント領域（枠なし）が選択されているときの印刷幅を設定します。

① 〈設定〉ボタンを選択します。以下のようなダイアログボックスが表示されます。



図 5-5.9 書式設定-コメント領域ユニット設定ダイアログボックス

② 値を入力し〈OK〉ボタンを選択します。

5-5-7 ページに関する情報の設定

〈ページ〉ボタンを選択するか、あるいは、メインダイアログボックスの用紙、余白、バナー、ヘッダ、フッタ、ページ番号欄のいずれかの項目をダブルクリックすると以下のようなダイアログボックスが表示されます。

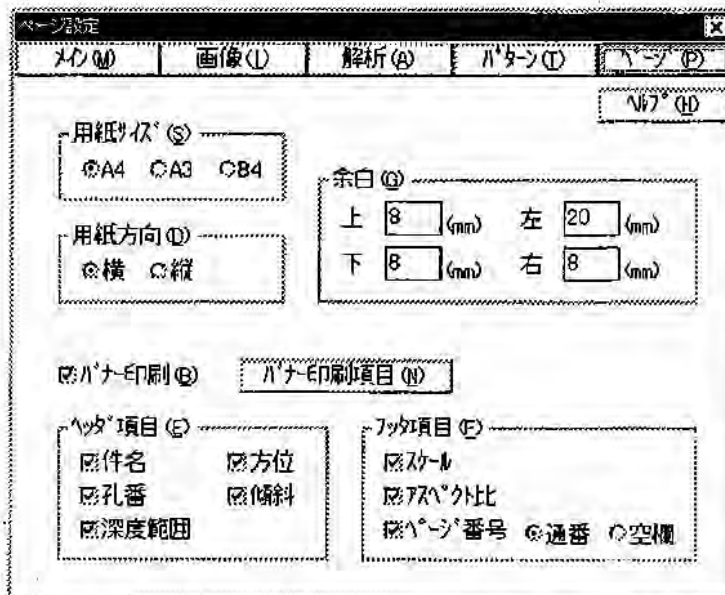


図 5-5.10 印刷設定—ページ設定ダイアログボックス

印刷する用紙に関する書式設定を行います。他の種類の書式設定用ダイアログボックス表示中は、〈ページ〉ボタンを選択すると表示されます。

ここでは以下に示す項目について書式設定できます。

- 用紙サイズ
- 用紙方向
- 余白
- バナー印刷
- ヘッダ項目
- フッタ項目



参照

これらの詳しい設定については、個別（全）画像印刷設定と同様ですので「5-3-6 ページに関する情報の設定」を参照してください。

5-6 プリンタの設定

印刷に使用するプリンタの選択や、プリンタの印刷時の設定を行ないます。

プリンタの設定をするには

1. [ファイル]-[プリンタ設定]コマンドを選択すると、[プリンタ設定]ダイアログボックスが表示されます。

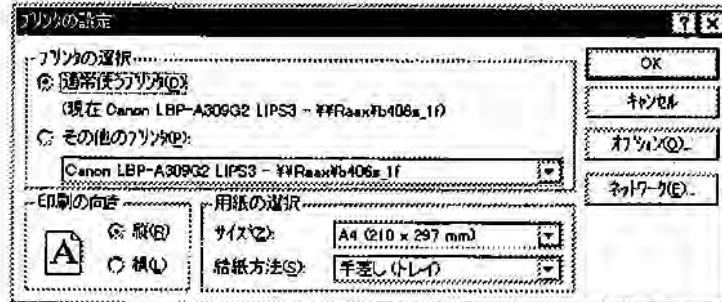


図5-11. [プリンタの設定] ダイアログボックス

- a. [プリンタの選択:]グループボックス
印刷するプリンタを選択します。
- b. [通常使うプリンタ:]オプションボタン
Windowsで通常使用するプリンタとしてセットされているプリンタを表示します。
- c. [その他プリンタ:]リストダウンボックス
現在Windowsにセットアップされているすべてのプリンタを一覧表示します。このリストボックスでは、印刷時に使用するプリンタを切り替えることができます。
- d. [印刷の向き:]オプションボタン
用紙の方向を指定します。
- e. [用紙の選択:]グループボックス
用紙のサイズ、給紙方法を選択します。
 - [用紙サイズ:]リストダウンボックス
選択したプリンタで使用できる用紙サイズを一覧表示します。このリストボックスでは、印刷する用紙を変更できます。
 - [給紙方法:]リストダウンボックス
選択したプリンタで可能な給紙方法の一覧を表示します。このリストボックスでは、給紙方法を変更できます。



参考

プリンタが接続されているポートを変更するには、Windowsのコントロールパネル[プリンタ]を使用します。[プリンタ]については、Windowsに添付されているマニュアルを参照してください。

- f. <オプション...>ボタン

選択したプリンタの、印刷時の設定を変更するためのダイアログボックスを表示します。ダイアログボックスで設定できる項目は、選択したプリンタによって異なります。

6 トラブルシューティング

6 トラブルシューティング

プログラムを使用中に、以下に示すトラブルが発生する場合があります。その場合に考えられる原因と対処方法について記述します。

1. スプールエラー

- 原因** スプールファイルを作成するハードディスク容量が確保できない。
- 対処** 本プログラムでは、出力条件によってはかなりのスプール用のディスクエリアを使用します。ハードディスク上の不要なファイルをできるだけ削除してからプリントを再実行してください。

2. ウィンドウ上に表示される孔盤のインデックス画像の色がうまく表示されない。

- 原因** Windowsの設定で、色数の少ないディスプレイドライバが設定されている。
- 対処** Windowsのディスプレイドライバを色数が多いもの(256色以上)に変更してください。変更方法についてはWindowsに付属のマニュアルを参照してください。

7 ユーザーサポートについて

7 ユーザーサポートについて

本製品をご購入いただいたお客様ユーザーサポートサービスを行っております。ユーザーサポートは、商品に同封されているユーザー登録カードをご返送頂いた方を対象とさせていただきますので、必ずご返送ください。

ご不明な点がある場合は、最初にそれぞれのハードウェア、ソフトウェアのマニュアルの当該箇所をご覧ください。当社への問い合わせは、下記まで郵便、FAXあるいはE-mailにてお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社 レアックス
企画開発課

〒065 札幌市東区北24条東17丁目 1-12

電話 011-780-2222

FAX 011-780-2221

E-mail: raaxkkk@mail.marinet.or.jp

BIPS画像プリントプログラム
for WindowsV2.0f
ユーザーズガイド
1997年 7月 20日 初版発行

©1995-98 RaaX Co.,Ltd.

発行 株式会社レアックス

〒065 札幌市東区北24条東17丁目 1-12
企画開発課

TEL 011(780)2222 (代)
FAX 011(780)2221

Printed in Japan MPWJ0200-001
落丁・乱丁はお取り替えいたします。

